



# 核兵器のない平和な世界を たたかい続けて60年

●高知の平和運動の砦として歩んできた高知県原水爆対策協議会協が60周年を迎えました。1954年3月1日、アメリカがビキニ環礁で水爆実験を行い、高知のマグロ漁船はじめ1000隻が被曝。川村高知県知事を会長に7月17日、日本原水協より一年も早く創立、以来60年間、一貫し原水爆禁止と生活防衛、



被爆者援護を掲げ県民運動として粘り強く戦い、50町村で核兵器全面禁止アピール署名住民過半数達成の力で非核港湾条例制定運動や嶺北米軍低空飛行訓練やオスプレイ中止も展開。私、吉良が、10月県議会で取り上げたように、ついに、ビキニ事件に関する資料を厚労省に提出させ、県内はじめ、被災漁船員支援の新たな運動も進み始めています。

## 平和資料館草の家 創立25周年迎える

25周年を迎え、キム・ヨンファンさんの講演と祝賀会も開催されました。



また、平和資料館草の家も

た。高知の平和運動を支える2つの団体のそれぞれの記念行事は、今の憲法9条の精神は、こうした皆さんの不断の努力によって具現化され継続されてきていることを如実に示すものでしたし、また、窪川原発を許さない県民世論を築いてきたものだと、実感できるものでした。

**キラリンにやんでも通信**

ら形作られ醸成されていく。

●国民大運動実行委員会の県行政への要求行動に出席。日々のくらしと経済活動すべてにわたり現場サイドから絞りこまれ練り上げられた要望の数々。次々と語られる事例の一つ一つが県民の暮らしの実態である。

●要求する方とそれを受けとめる方、その双方とも真剣そのもの。政治の内容はこうした所から

